

おとあそび親子教室 講座のご案内

「おとあそび」親子教室」を東京芸術大学主催の公開講座として開講します。未就学の子どもたちと、その保護者を対象に、音楽をとおして親子のコミュニケーションを促進し、子どもの心と感性を育てていくことを目的としています。将来、音楽家になるための早期英才教育ではありません。音楽を活用し、多様な音と音楽を受け入れ、自ら楽しむ経験をとおして豊かな人間性を獲得してもらうことを目指しています。



自己肯定感を育む

親子教室の講師は、東京芸術大学の大学院を出た音楽の専門家で、その多くが音楽療法を研究してきていることを特色としています。いちばん大切にしていることは、子どもたちを音楽に従わせるのではなく、音楽を子どもたちに合わせて、子どもたちの成長のために役立てようとしていることです。ですから、子どもたちを「～ができない」とか「～がいやだ」という気持ちにさせることなく、音楽を心から楽しみながら、すこしずつ親や友だちと音楽を通したコミュニケーションができるようになっていきます。失敗することなく受け入れてもらえる体験が、子どもたちの自己肯定感を育てていきます。

多対多のグループ活動

この教室は、マンツーマンのレッスンではありません。多数の親子が同時に活動しても、複数の講師がしっかりと気配りをしています。また、複数の講師がいるからこそそのアンサンブル演奏を味わったり、わかりやすくロールプレイを展開することもできます。なによりも、この時期の子どもたちにとって、友だちの存在はとても大きなものです。音楽を心から楽しみ、少しずつ音楽を通して親や友だちとコミュニケーションをとれるようになっていきます。

多様な音楽体験

子どもの音楽教室ですから、子どもに合わせた童謡や唱歌をとりあげるのはもちろんですが、それだけではありません。子どもに合わせて用意したクラシックの名曲、タンゴ、ジャズ、様々な民族音楽などを体験してもらいます。そして、いろいろな楽器にも触れてもらいます。トーンチャイム、マラカス、カシシ、タムタム、そしてハープなど、普段はあまり目にしない楽器に触れる子どもたちの目は好奇心でキラキラと輝きます。

発達レベルとグループ編成

クラスは発達レベルに一定の幅をもたせたゆるやかな年齢設定となっています。発達レベルが異なる子どもたちがともに活動することで、おたがいに刺激を受けることにもつながります。音楽体験を共有することが、人間関係構築の基礎を作っていくといえるでしょう。一方、金曜クラスは少しだけ年齢層をしぼった設定となっており、発達に合った活動を展開していきます。お子さまの個性に合わせてクラスを洗濯していただくのも一案です。

繰り返すことの大切さ

わたしたちは、多様な経験を大切にすると同じくらい、ひとつの活動を繰り返して行うことも重視しています。毎回繰り返して同じ歌を歌ったり、前期と後期で同じ楽器に同じように触れてもらったりということを、むしろ積極的にこなしています。この時期の子どもたちには、同じ活動が、繰り返されるたびに違う意味をもってきます。成長の階段を一段ずつのぼっていくにつれ、音楽をより深く感じられるようになり、大きな満足感をもって自己を肯定する力が育っていきます。



子どもを理解すること

教室で学ぶのは子どもたちだけではなく、保護者のみなさんには、子どもに寄り添い、子どもを理解すること、音楽活動の中で体験的につかみとっていただきたいと思います。

なかなか言うことを聞いてくれない、落ち着きがない、などという悩みは子育てにつきものですが、どうしてそうなるのかを少し理解するだけでも、ずいぶん気持ちが変わり、子どもに笑顔で接することができるようになります。

～音楽を通して、楽しみながら人として成長すること～ それが、この親子教室の目標です。

親子教室のご案内は URL <http://goo.gl/eXJxzu> でもご覧いただけます。